

いちよし・グローバル好配当戦略ファンド (年6回決算型)

愛称: **ミズナラ**

(追加型投信/内外/資産複合)

「ミズナラ」の足元の運用状況について

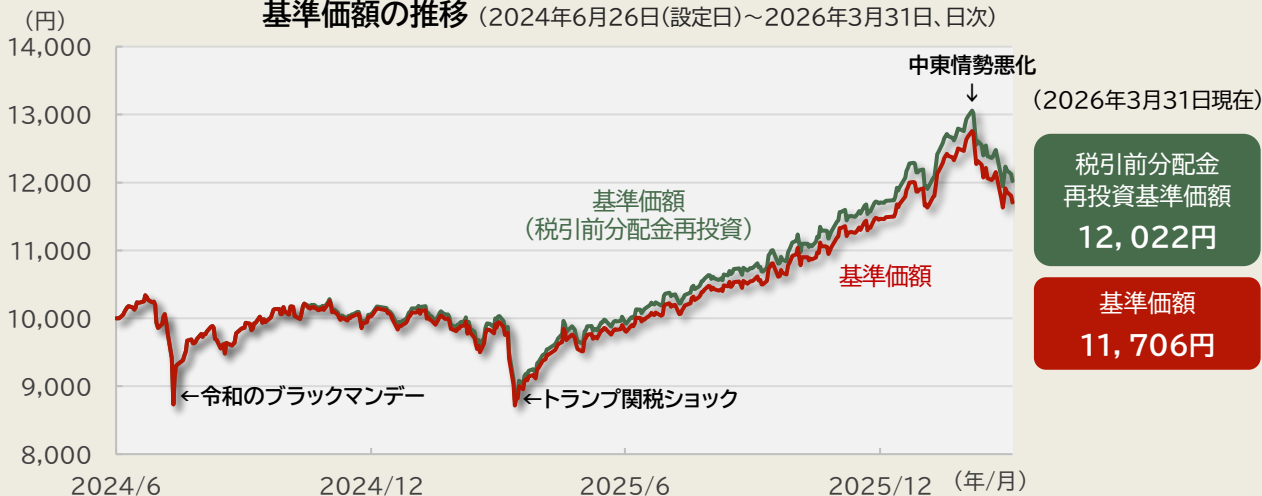


設定来の基準価額動向と分配金のお支払いについて

～基準価額の上昇を受けて分配金を引き上げ～

- 「ミズナラ」は、「配当」に着目した3つの戦略でグローバルな株式やREITに分散投資を行うファンドです。
- 設定日(2024年6月26日)から2025年前半にかけては、基準価額(税引前分配金再投資、以下同じ)は概ね横ばいでの推移となりましたが、その後は主に日本を含む世界の株式市場が堅調に推移したことから、基準価額は2026年2月末にかけて大きく上昇しました。
- 3月は、米国・イスラエルによるイランへの軍事行動を発端とした中東情勢の不安定化により、原油価格の急騰や地政学リスクの高まりから下落しましたが、設定来の騰落率は+20.2%*と良好なパフォーマンスとなっています。
*ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものとして計算しているため、実際の投資家利回りとは異なります。
- 基準価額水準を勘案し、2026年3月10日の決算で当ファンドの分配金を40円に引き上げました。

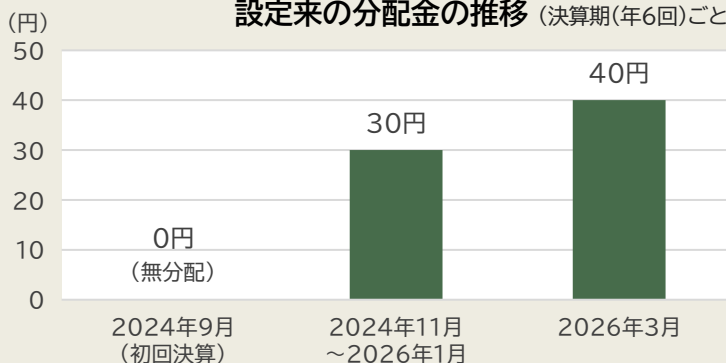
基準価額の推移 (2024年6月26日(設定日)～2026年3月31日、日次)



※基準価額(税引前分配金再投資)は信託報酬控除後です。

※基準価額(税引前分配金再投資)は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

設定来の分配金の推移 (決算期(年6回)ごとの分配額、1万口当たり、税引前)



※当ファンドは年6回決算を行います(1月、3月、5月、7月、9月および11月の各10日(休業日の場合は翌営業日))。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について、示唆・保証するものではありません。

※分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。また、分配金の一部又は全てが元本の一部払い戻しに相当する場合があります。

※上記は過去の実績であり、将来の動向を示唆・保証するものではありません。



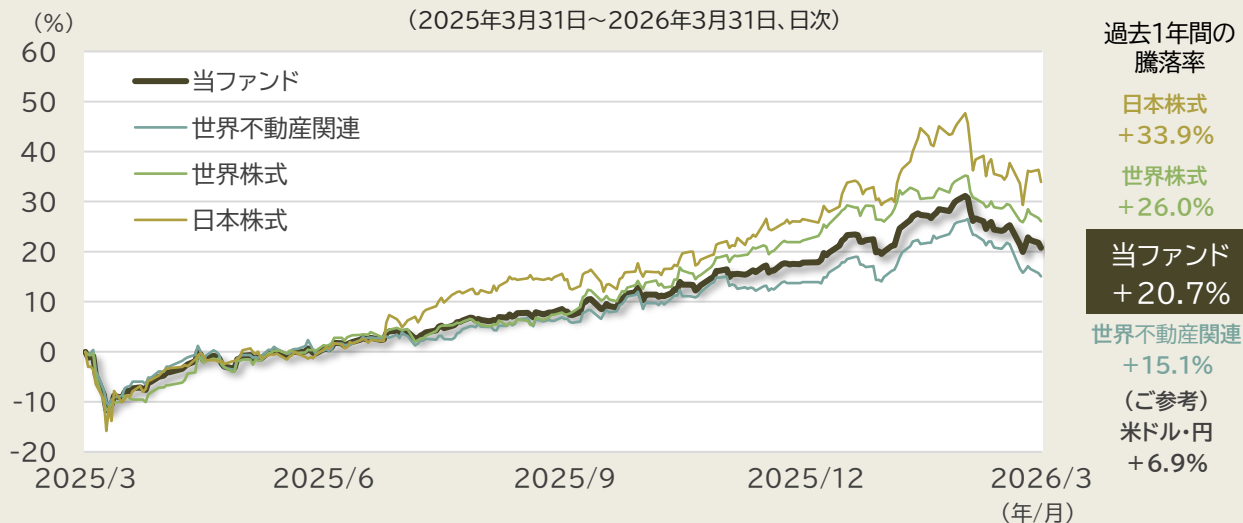
当ファンドおよび各戦略の過去1年のパフォーマンス

～全四半期でプラスリターンを確保～

- 過去1年間では、3つの戦略すべてが10%超の上昇となりました(円ベース、以下同じ)。日本株式および世界株式が大きく上昇したことに加えて、為替相場で円が主要通貨に対して下落(円安)したことが基準価額にプラスとなりました。
- 世界不動産関連は過去1年間で約15%上昇したものの、世界株式および日本株式に対しては相対的に劣後するパフォーマンスとなりました。

過去1年間の当ファンドおよび各戦略のパフォーマンス(円ベース)

(2025年3月31日～2026年3月31日、日次)



過去1年間の当ファンドおよび各戦略の四半期リターン(円ベース)

(対象期間: 2025年3月31日～2026年3月31日、四半期)

	2025年			2026年
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
当ファンド	0.5%	7.5%	9.1%	2.5%
世界不動産関連	0.2%	6.3%	6.9%	1.0%
世界株式	1.3%	6.1%	13.7%	3.1%
日本株式	0.4%	13.8%	10.7%	5.9%
(ご参考)米ドル・円	-3.2%	2.8%	5.2%	2.1%

2025年 4-6月	✓ 「トランプ関税ショック」で4月に急落も、その後は関税交渉の進展などが好感され反発。
7-9月 10-12月	✓ 米国の連続利下げ(9、10、12月)、AI投資拡大などを背景に世界株式・日本株式は堅調に推移。 ✓ 加えて、日本株式は高市政権に対する期待感なども株価の押し上げ要因に。 ✓ 為替相場では円安・米ドル高が進行。
2026年 1-3月	✓ 衆院選(2月)の自民党の圧勝を受けて日本株式は大幅高に。 ✓ 3月は中東情勢悪化によりリスク回避的な動きが広がり、各戦略は下落も、四半期ベースでプラスリターンを確保。

※世界不動産関連(REITおよび不動産関連株式):「ウエリントン・グローバル・プロパティ・ファンド(JPY Sクラスー四半期配当 ヘッジなし)」

世界株式:「ウエリントン・グローバル・クオリティ・バリュー・ファンド(JPY Sクラスー四半期配当 ヘッジなし)」

日本株式「いちよし日本好配当株ファンド(適格機関投資家専用)」

※当ファンドおよび各投資先投資信託の騰落率は、基準価額(税引前分配金再投資)を元に算出してあり、実際の投資家利回りとは異なります。

※各組入投資信託証券のデータは、当ファンドの基準価額に対応する日に調整しています。

※上記は過去の実績であり、将来の動向を示唆・保証するものではありません。



今後の見通し

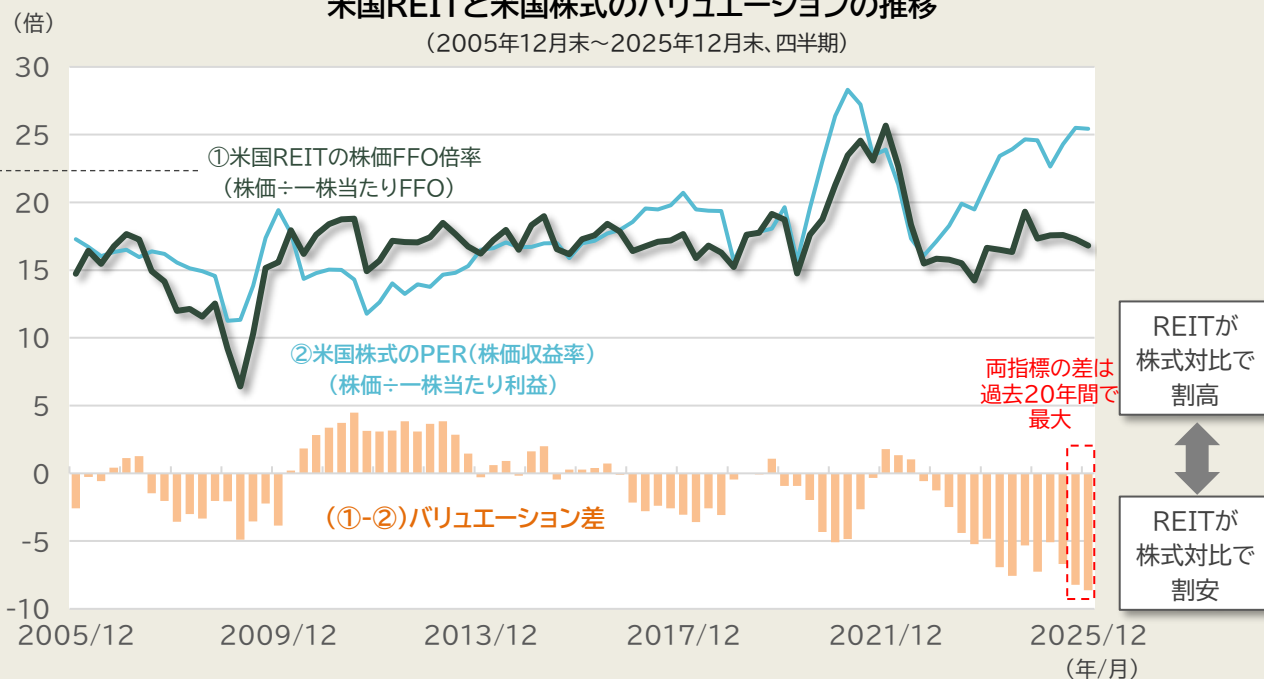
世界不動産関連 (REITおよび不動産関連株式)

～REITに再評価の機運～

- 米国REIT(不動産投資信託)のバリュエーション指標(割安感・割高感を測る指標)を米国株式と比較すると、両指標の差は過去約20年間で最も大きくなっており、株式に対するREITの割安感が強まっていると言えます。
- AI関連の強気相場が続く中では、この割安感が修正されるまでに時間を要する可能性があります。物件の供給制約、相対的に高い配当利回りといった点はREITのポジティブ要因であり、また高金利の影響も資金調達コストに概ね反映されてきています。
- 足元は中東不安による地政学的リスクの高まりにより、市場環境は不安定ではあるものの、株式市場では物色の対象がテクノロジー系の銘柄など一部に限定されたものから、今後はより幅広いセクターへ広がると見ており、その過程では割安感のあるREIT市場が再評価される可能性が高いと考えます。

米国REITと米国株式のバリュエーションの推移

(2005年12月末～2025年12月末、四半期)



株価FFO倍率とは?

- 株式のPER(株価収益率)と同じようにREITの収益と株価の水準を比較して割安・割高を判断する指標で、「株価÷一株当たりFFO」で算出されます。
- 一株当たりFFO(Funds From Operation(不動産事業から得られる資金)の略)は、REITの収益力を示す指標です。「REITの純利益+減価償却費-不動産売却損益」で算出されます。
- 不動産投資では減価償却の影響が大きいことから、実際の支出を伴わない減価償却費を加えることで、株式のPERよりもREITの収益力の実態を反映した指標として活用されています。

出所: NAREIT(全米不動産投資信託協会)、ブルームバーグ

※米国REITは米国の証券取引所に上場されているエクイティREITの集計値に基づきNAREITが算出した値、米国株式はS&P500種指数の実績PERを使用(S&P500種指数は当ファンドのベンチマークではありません)。

※上記は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの2026年3月末時点の見通しです。

※上記は過去の実績および将来の予想であり、将来の動向を示唆・保証するものではありません。

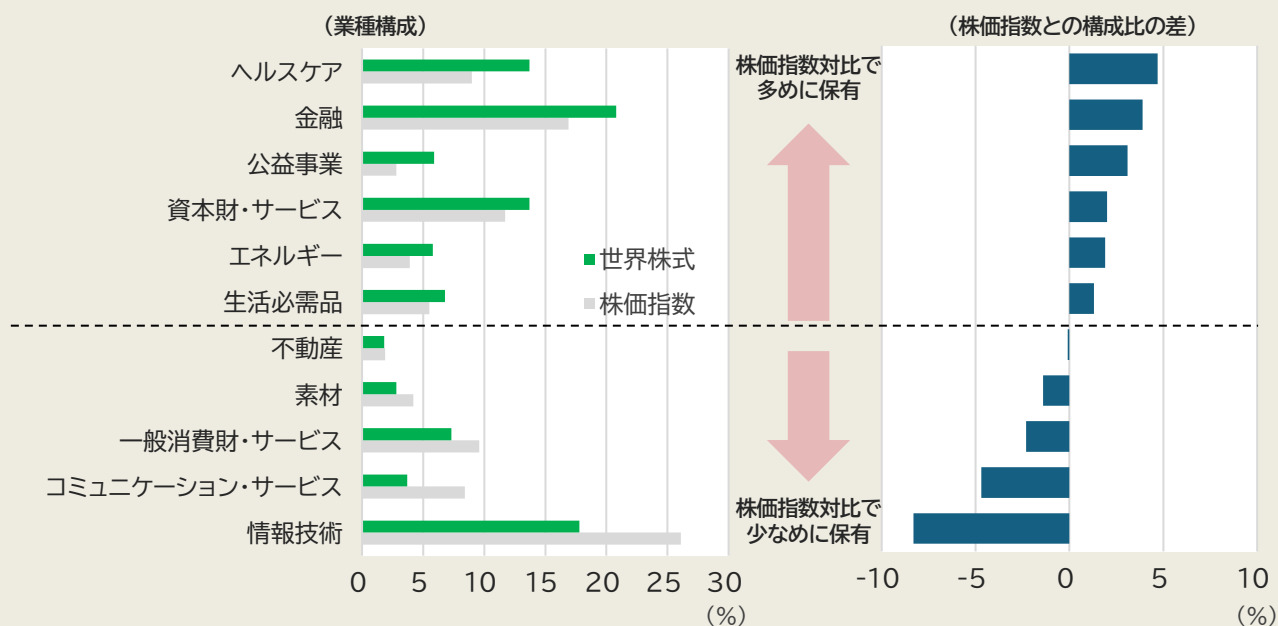
世界株式

～質の高い事業基盤を持つヘルスケア、公益事業の企業に注目～

- 中東情勢の悪化を発端とする原油価格の急騰を受けて、インフレ再燃・金融引き締め長期化への警戒が急速に広がりました。その結果、株式・債券ともにリスクオフ色が強まる展開となりました。
- こうした中、当戦略では、魅力的なバリュエーション、安定したキャッシュフロー創出力、保守的なバランスシートを有する企業への投資機会に注力しています。足元ではヘルスケアおよび公益事業に注目しており、質の高い事業基盤を持つ企業が割安な水準で取引されていると考えています。また、AI関連の設備投資サイクルの恩恵を受けると見込まれる企業にも選別して投資を行っています。

世界株式のポートフォリオと株価指数との業種構成の比較

(2026年2月末時点)



出所:ウエリントン社からの情報提供を基に東京海上アセットマネジメント作成

※株価指数はMSCI オール・カンントリー・ワールド指数(当ファンドのベンチマークではありません)

日本株式

～不透明な環境下においても、株主還元積極的に銘柄の株価は底堅く推移すると予想～

- 国内株式市場は、米国、イスラエルによるイランへの攻撃などから予断を許さない状況ですが、足元では落ち着きを取り戻しつつあります。トランプ米大統領の発言に対する過度な株式市場の反応は、徐々に緩やかなものとなっています。今後の更なる戦闘の激化や和平交渉の決裂など想定外の危機や、原油価格の高止まりによる実体経済や企業収益への影響には注意が必要と考えます。
- 短期的に原油価格の高騰は、コスト増加による企業収益の圧迫とインフレによる消費の減退など実体経済に悪影響を及ぼします。そのような環境下においても、配当性向の引き上げや自社株買いの増加などによる総還元性向の向上が見込まれる銘柄の株価は、底堅く推移すると見込んでおり、今後もより銘柄選別に注力しパフォーマンスの向上を図ってまいります。

※上記は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーおよびいちよしアセットマネジメントの2026年3月末時点の見通しです。

※上記は過去の実績および将来の予想であり、将来の動向を示唆・保証するものではありません。



組入海外銘柄のご紹介(2026年2月末時点)

世界不動産関連

ウェルタワール (アメリカ)

高齢者向けの賃貸住宅に注力するヘルスケアREIT。米国、カナダ、英国で事業を展開。



エクイニクス (アメリカ)

データセンター特化型REIT。クラウド・情報技術、企業、ネットワーク、モバイルサービス提供社、および金融会社向けにサービスを提供。



世界株式

トタルエナジーズ (フランス)

フランスのエネルギー会社。原油、天然ガス、および低炭素電力を生産、輸送、供給するほか、石油化学製品を精製する。世界各地でガソリンスタンドを保有、運営。



デューク・エナジー (アメリカ)

子会社を通じて、天然ガス、原子力、再生可能エネルギー、エネルギー貯蔵サービスなど、電力公益事業のアップグレードおよびクリーン発電を行う。米国で事業を展開。



出所:ブルームバーグ

※上記は個別銘柄への投資を推奨するものではありません。また、今後の組入を保証するものではありません。
 ※上記は過去の実績であり、将来の動向を示唆・保証するものではありません。

ファンドの主なリスク

※詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- ・投資する有価証券等の値動きにより基準価額は変動します。したがって、**投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・**運用による損益は、全て投資者に帰属します。**
- ・投資信託は**預貯金や保険と異なります。**
- ・ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定されます。

価格変動リスク	<p>株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります(発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。)。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。</p> <p>REITの価格は、REITが保有する不動産の評価の下落、不動産市況に対する見通しや需給等、さまざまな要因を反映して変動します。組入REITの価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。</p>
為替変動リスク	<p>外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動の他、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向にすすんだ場合には、基準価額が下落する要因となります。</p>
金利変動リスク	<p>REITは、金利が上昇する場合、他の有価証券の利回り等との比較から売却され、価格が下落することがあります。また金利の上昇は、金融機関等から借入れを行っているREITの場合、その返済負担が大きくなり、REITの価格下落や配当金の減少につながる場合があります。したがって、金利の上昇に伴い基準価額が下落することがあります。</p>
信用リスク	<p>REITは、信用状況(経営や財務状況等)が悪化した場合、倒産等の状況に陥り投資した資金が回収できなくなる場合があります。また、こうした状況に陥ると予想される場合、当該REITの価格が下落する場合があります。したがって、信用状況の悪化に伴い基準価額が下落することがあります。</p>
カントリーリスク	<p>投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想以上に下落したり、投資方針に沿った運用が困難となる場合があります。</p> <p>また、投資対象国・地域には新興国が含まれています。新興国を取巻く社会的・経済的環境は不透明な場合もあり、金融危機、デフォルト(債務不履行)、重大な政策変更や様々な規制の新たな導入等による投資環境の変化が、先進国への投資に比べてより大きなリスク要因となることがあります。</p> <p>さらに、新興国においては市場規模が小さく流動性が低い場合があり、そのため組入資産の価格変動が大きくなる場合があります。</p>
流動性リスク	<p>受益者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことがあります。その際、組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ない場合があります。この場合、基準価額が下落する要因となります。</p>
法制度等の変更リスク	<p>REITおよび不動産等に関する法制度(税制・建築規制等)が変更となった場合、REITの価格下落や配当金の減少につながる場合があります。したがって、法制度の変更に伴い基準価額が下落することがあります。</p>

○基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

〈収益分配金に関する留意事項〉

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全額が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

お申込みメモ

※詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入単位	販売会社が定める単位。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
換金単位	販売会社が定める単位。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して、7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時30分までに、販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金 申込受付の中止 および取消し	取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
購入・換金申込不可日	以下に該当する日には、購入・換金のお申込みができません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日 ・イースターマンデー ・5月1日 ・クリスマス(12月25日もしくはその振替休日)の直前および直後の営業日
信託期間	無期限(2024年6月26日設定)
繰上償還	主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなる場合は、繰上償還となります。 以下に該当する場合等には、繰上償還することがあります。 ・受益権の総口数が30億口を下回ることとなったとき ・ファンドを償還することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	1月、3月、5月、7月、9月および11月の各10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年6回の決算時に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。 ※分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ※販売会社との契約によっては再投資が可能です。
課税関係	収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の差益に対して課税されます。 課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は、税法上、一定の条件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA」の適用対象となります。ファンドは、「NISA」の「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は、2025年9月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、内容等が変更される場合があります。

ファンドの費用

※詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資者が直接的に負担する費用(購入時・換金時)

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用(保有時)

ファンドの純資産総額に信託報酬率をかけた額(基本報酬)に(実績報酬)を加えた額とします。(基本報酬)は日々、(実績報酬)は毎営業日に計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、(基本報酬)および(実績報酬)は、毎計算期末または信託終了の時にファンドから支払われます。

〈基本報酬〉

信託報酬率	支払先	配分(税抜)	役務の内容
年率0.616% (税抜0.56%)	委託会社	年率 0.29%	委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
	販売会社	年率 0.25%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
	受託会社	年率 0.02%	運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価

〈実績報酬〉

基本報酬に加え、前営業日の基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回った場合に実績報酬がかかります。実績報酬は販売会社*に支払われます。

*役務の内容については、〈基本報酬〉の欄をご参照ください。

実績報酬 = (前営業日の基準価額 - ハイ・ウォーター・マーク) × **5.5%(税抜5%)**

※実績報酬の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)等をご覧ください。

ファンドの信託報酬のほかに、投資対象とする投資信託証券に対しても信託報酬等がかかります。

〈投資対象とする投資信託証券の信託報酬率〉

ファンド	信託報酬率*
グローバル・プロパティ・ファンド	年率0.27%(注)
グローバル・クオリティ・バリュー・ファンド	年率0.165%(注)
日本好配当株ファンド	年率0.15125% (税抜0.1375%)

※ファンドが投資対象とする投資信託証券の投資比率に基づき算出したものです。

(注) その他、管理費用等(0.25%以内)を投資比率に基づき算出したものが、それぞれかかります。

実質的な負担*	年率1.20225%程度(税込) + 〈実績報酬〉
---------	----------------------------------

※ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬率を加味して、投資者の皆様が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。なお、実質的な負担額に、投資対象とする投資信託証券の管理費用等は含まれていません。

その他の費用・手数料

以下の費用・手数料等がファンドから支払われます。

・監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用

ファンドの純資産総額に年率0.011%(税込)をかけた額(上限年99万円)を日々計上し、毎計算期末または信託終了の時にファンドから支払われます。

・組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料

・資産を外国で保管する場合にかかる費用

・信託事務等にかかる諸費用

・投資対象とする投資信託証券における諸費用等

※監査にかかる費用を除く上記の費用・手数料等は、取引等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記に記載する手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、事前に表示することができません。

※ファンドが実質的に投資するREITについては、市場の需給等により価格形成されるため、REITの費用は表示しておりません。

一般的な留意事項

- 当資料は、東京海上アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みに当たっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に掲載された図表等の内容は、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- 投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。

[当資料で使用している数値について]

■ MSCI 各指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。MSCI社は当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

■ S&P 500®はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJ」)の商品であり、東京海上アセットマネジメント株式会社による使用のためにライセンス供与されています。S&P®, S&P 500®, SPX®, SPY®, US 500™, The 500™, iBoxx®, iTraxx®, およびCDX®は、S&P Global, Inc.またはその関連会社(「S&P」)の商標であり、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標はSPDJによる使用のためにライセンス供与されており、東京海上アセットマネジメント株式会社により特定の目的でサブライセンスされています。ファンドは、SPDJ, Dow Jones, S&P, それぞれの関連会社によって後援、または販売されているものではなく、これらの当事者は、いずれも当該商品への投資の是非について表明するものではなく、S&P 500®の誤り、脱落、または中断について一切の責任を負いません。

■ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は



商号等: いちよし証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第24号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会

■ 設定・運用は



東京海上アセットマネジメント

商号等: 東京海上アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会: 一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【お問い合わせ先】 東京海上アセットマネジメント株式会社

○ホームページアドレス: <https://www.tokiomarineam.co.jp/>

○電話番号: 0120-712-016 (受付時間: 営業日の9:00~17:00)